

はじめに

目次

第 1 章	震災後 5 年を迎えた仮設住宅自治会の現状と課題 —榑葉町アンケート調査を中心に—	(松本 行真)	1
1.1	各仮設住宅自治会の概要		1
1.2	調査の概要		2
1.3	仮設住宅自治会の実態と期待		2
1.4	自治会長連絡会議の課題		5
1.5	帰町に向けた課題		6
1.6	帰町に向けた仮設住宅自治会の役割		8
第 2 章	震災後 5 年を迎えた仮設住宅自治会の現状と課題 —富岡町アンケート調査を中心に—	(松本 行真)	11
2.1	各仮設住宅自治会の概要		11
2.2	調査の概要		11
2.3	仮設住宅自治会の実態と期待		12
2.4	公営住宅への集団移住における課題		18
2.5	今後の仮設自治会運営に向けた課題		21
第 3 章	転機を迎えた榑葉町の仮設住宅自治会	(松本 行真)	23
3.1	帰還にむけた環境変化でゆらぐ仮設住宅自治会		23
3.2	仮設住宅自治会の変容		28
3.3	仮設住宅自治会の対応と課題 —各仮設の変化 2015 年から 2016 年まで—		35
3.4	仮設住宅自治会のゆくえ—区会と役場のはざまに—		40
第 4 章	津波被災者と原発避難者の交流 —いわき市薄磯団地自治会といわき・まごころ双葉会の事例—	(齊藤 綾美)	49
4.1	はじめに		49
4.2	薄磯団地自治会と「双葉会」の概要		50
4.3	津波被災者と原発避難者との交流の経緯と現状		55
4.4	おわりに		57

第5章	自主避難者の対話的交流と派生的ネットワーク —母子避難という経験の語りから—	(高橋 雅也) 63
5.1	はじめに—自主／母子避難という問題系	63
5.2	自主避難について語ること	64
5.3	母子の成長と広がるネットワーク	69
5.4	避難者であることからの避難	73
5.5	むすびにかえて	75
第6章	仮設住宅自治会間の連携は可能か —三春町連絡協議会と『みはる通信』から—	(松本 行真) 77
6.1	三春町に設置された富岡町仮設住宅	77
6.2	6 仮設自治会が連携した連絡協議会の設立	78
6.3	『みはる通信』の歴史	79
6.4	仮設入居者向けメディアの意義と課題	96
第7章	原子力災害は防災訓練を変えるのか —原発事故後の浜通り地方の取組を事例に—	(松本行真・吉原直樹) 99
7.1	はじめに	99
7.2	震災前の原子力防災訓練 —緊迫感のない「上から」の「動員型」訓練—	100
7.3	3・12 と原子力防災訓練 —訓練は避難に活かされたのか—	102
7.4	震災後の原子力防災訓練 —3・12 は訓練を変容させたのか—	105
7.5	結果と考察	108
第8章	広域支援の可能性 —北海道岩見沢市の「温もり届け隊」の活動から—	(松本 行真) 111
8.1	設立の背景と経緯	111
8.2	初期の活動と広域ネットワーク形成の萌芽	112
8.3	温もり届け隊の構成員とその拡がり	117
8.4	広域支援を可能にするものは何か	121
【資料編】		
資料1	『栢葉町コミュニティ調査』単純集計表	125
資料2	『富岡町コミュニティ調査』単純集計表	133
資料3	インタビュー調査結果	141